

【別記1】 福島第一原子力発電所2号機からのキセノン検出事象に関する通報連絡一覧

	通報連絡日時	通報内容
1	平成23年11月2日 FAX発信 1時14分	<p>・2号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、11月1日に採取した放出ガスの核種分析を行ったところ、短半減期核種(キセノン133、135)が検出されました。</p> <p>現状、2号機の原子炉温度・圧力及びモニタリングポストの値に有意な変動はないが、核分裂反応が発生している可能性が否定できないことから、念のため準備ができ次第、原子炉の注水ラインよりホウ酸水を注水いたします。</p>
2	平成23年11月2日 FAX発信 4時35分	<p>・第1報でお知らせしました2号機原子炉への注水ラインからのホウ酸水の注水については、11月2日2時48分から3時47分にかけて実施しました。</p>
3	平成23年11月2日 FAX発信 10時21分	<p>・2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリング結果(評価中、採取日11月1日)についても報告します。(評価中)(単位: Bq/cm<sup>3</sup>)</p> <p>Xe-133(半減期: 約5日) <math>1.4 \times 10^{-5}</math>(検出限界値: <math>1.3 \times 10^{-5}</math>)</p> <p>Xe-135(半減期: 約9時間) <math>1.2 \times 10^{-5}</math>(検出限界値: <math>4.1 \times 10^{-6}</math>)</p>
4	平成23年11月2日 FAX発信 17時41分	<p>・2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体の分析結果(現在評価中)(本日(11月2日)採取分、11月1日採取分の再分析結果、10月28日採取分)について報告します。</p> <p><u>○10月28日15時24分採取分</u></p> <p>Xe-133(半減期: 約5日) 検出限界未満(検出限界値: <math>4.0 \times 10^{-1}</math>)</p> <p>Xe-135(半減期: 約9時間) 検出限界未満(検出限界値: <math>1.6 \times 10^{-1}</math>)</p> <p><u>○10月26日15時26分採取分</u></p> <p>Xe-133(半減期: 約5日) 検出限界未満(検出限界値: <math>2.8 \times 10^{-1}</math>)</p> <p>Xe-135(半減期: 約9時間) 検出限界未満(検出限界値: <math>1.4 \times 10^{-1}</math>)</p> <p><u>○11月1日13時51分～14時20分採取分</u></p> <p>Xe-133(半減期: 約5日) <math>6.5 \times 10^{-6}</math>(検出限界値: <math>3.4 \times 10^{-6}</math>)</p> <p>Xe-135(半減期: 約9時間) <math>1.3 \times 10^{-5}</math>(検出限界値: <math>5.4 \times 10^{-6}</math>)</p> <p><u>○11月2日11時59分～12時29分採取分</u></p> <p>Xe-133(半減期: 約5日) 検出限界未満(検出限界値: <math>1.5 \times 10^{-5}</math>)</p> <p>Xe-135(半減期: 約9時間) <math>1.7 \times 10^{-5}</math>(検出限界値: <math>4.3 \times 10^{-6}</math>)</p>

5	平成23年11月2日 F A X 発信 12時41分	<p>・11月1日に2号機原子炉格納容器ガス管理システムで採取した放出ガスの核種分析結果(第1報)において、短半減期核種(キセノン133、135)検出の可能性があるとお知らせしました。</p> <p>その後、日本原子力研究開発機構にて、当社の分析結果(採取日11月1日)は妥当であるとの評価を頂き、短半減期核種(キセノン133、135)を検出したと判断しました。</p>
6	平成23年11月2日 F A X 発信 17時04分	<p>・2号機原子炉格納容器からの排気ガス中の水素濃度がやや上昇傾向にあるため、本日、16時50分に原子炉格納容器内への窒素ガス封入量を21.0Nm<sup>3</sup>/hから26.0Nm<sup>3</sup>/hに変更しました。</p>